

あいおいばし
相生橋

〔地図番号6〕

竣工年月日（被爆当時の橋）
1932（昭和7）年12月11日

架替年月日
1983（昭和58）年11月2日

建立者
広島市

設計者



形状

架け替え前：全幅約15m
架け替え後：全長123.4m、全幅40m
（電車軌道、6車線の車道、歩道）

特記事項

1 T字型の橋

1932（昭和7）年、従来の電車専用橋を架け替えた相生橋は、1934（昭和9）年に橋の中央部分から、慈仙寺の鼻（現在の平和記念公園北端部）へ橋げたを伸ばし、全国でも珍しいユニークなT字型になりました。また、そのすぐ南側には、1878（明治11）年に架けられた木造の東西2つの相生橋があり、それが取り払われるまでのわずかの間、相生橋はH字型を構成し、特徴的な景観を形づくっていました。

2 原爆投下の目標と被災状況

原爆投下はこの橋を目標にしたといわれています。原爆は目標をそれ、300m離れた島病院（現島内科医院）上空でさく裂しました。すさまじい衝撃波で橋桁は変形し、北側の欄干は川に落ち、水面からはね返った爆風により歩道の一部が持ち上がりました。

3 架け替え

旧橋は戦後、復旧工事をして使用されてきましたが、老朽化が進んだため、1983（昭和58）年に新しく架け替えられました。架け替えにあたっては、平和記念公園や原爆ドーム等周辺的环境との調和が図られ、勾欄（欄干）・親柱にはみかげ石が使用されました。

4 歴史の証人

現在、橋詰めには被爆の痕跡を残す親柱が保存されています。また、爆風のため変形した橋げたの一部は、広島平和記念資料館に展示されています。